

こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

ひと

なみだの人、
エレミヤ



ぶん
文: Edward Hughes

え
絵: Jonathan Hay

かいさくしゃ
改作者: Mary-Anne S.

ほんやくしゃ
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ
出版社: Bible for Children

www.M1914.org

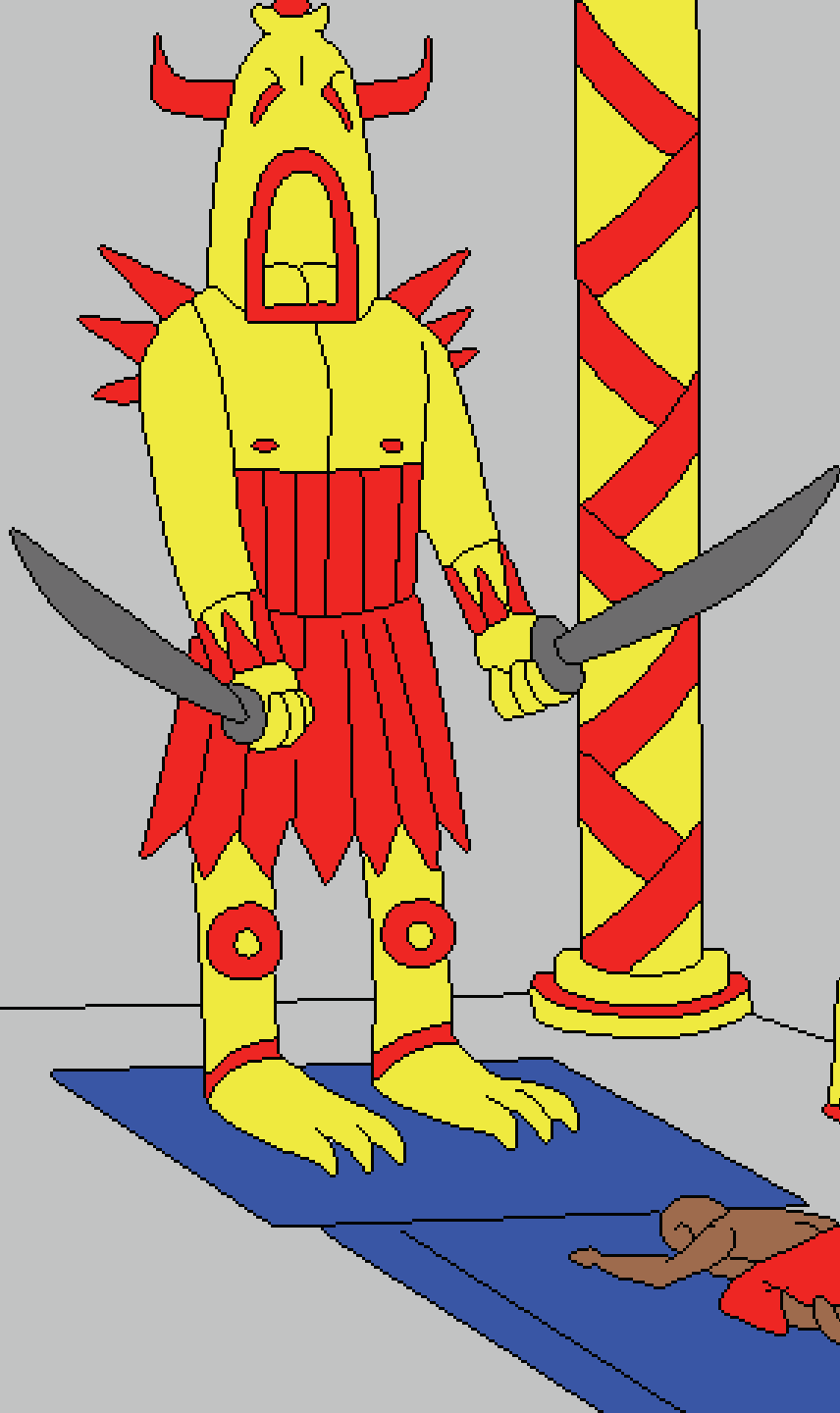
©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、
きよか
許可されています。



エレミヤは、ユダの王国で生まれました。
た。かれの家ぞくはみんな、心から神
さまを信じて生きていました。お父さん
ヒルキヤは、祭司です。かれの家ぞく
は、エルサレムからそんなに遠くない町
アナソスというところに、住んでいまし
た。エレミヤのお父さんとお母さんは
ね、かれもお父さんのように、きっと
祭司になるだろうと思っていたのです。
ところが、神さまはエレミヤにもっとほ
かのことを、計画されていたのですよ。





ちようどエレミヤが生まれたころ、神
さまの民は、神さまのことばなど聞か
ないで、好きかってに生活していまし
た。王さまから、身分のひくい人たち
まで、ほとんどの人たちが、うその神
さまを礼拝していたのです。しかも、
神さまがいらっしゃる聖なる宮殿で
ね。



エレミヤが、まだわか
もの かみ
者だったころ、神さま
は はな
このように話されま
した。「エレミヤよ、
わたしは、おまえのこ
う まえ し
とを生まれる前から知



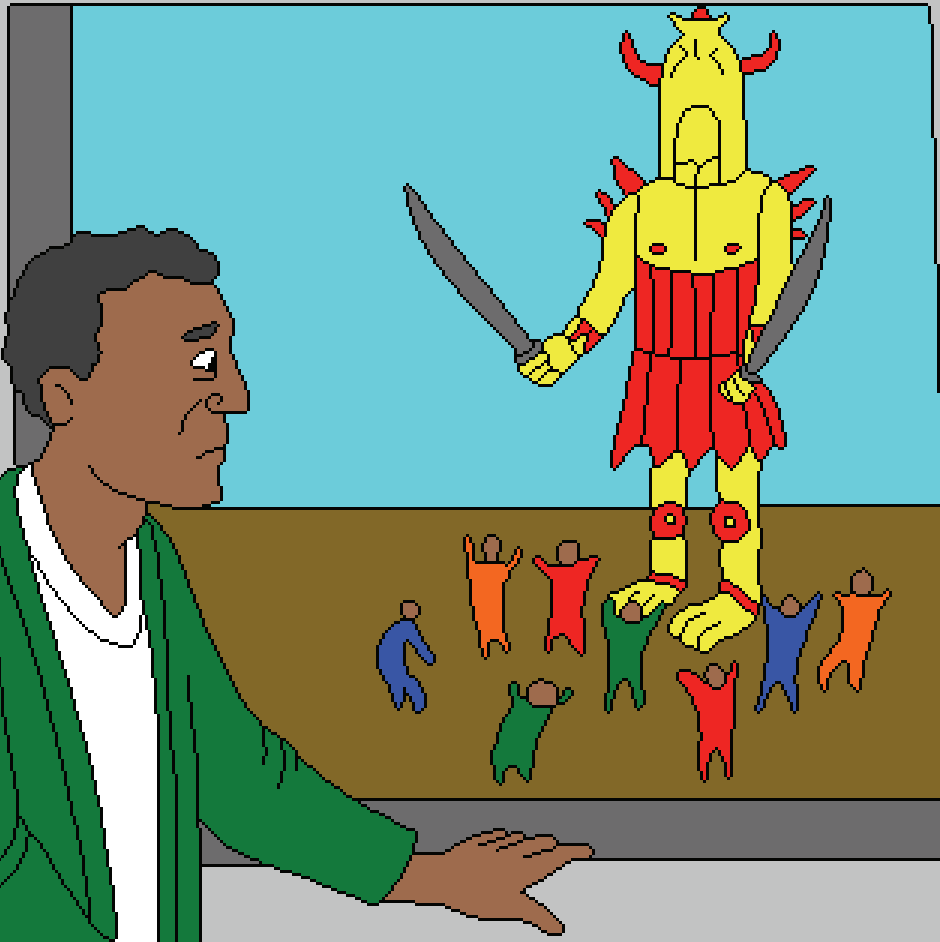
っているんだよ。」そして、また言われました。「そのときから、わたしはおま
え けいかく
のために、ちゃんと計画をたてているんだ。わたしのことを、人々に告
げ ひとひと つ
るようにね。」



エレミヤは、^{かみ}神さまからの^{こえ}声を聞いてびっくり！とてもこわかったようです。

「ああ、^{しゆ}主なる^{かみ}神さま！」エレミヤは、^{さけ}叫びました。「わたしには、^{ひと}人に^{はな}話すことなんかできません。^{かみ}神さま、わたしはまだ^こ子どもなのです。」でも、じつは、エレミヤはもう子どもではありません。そのとき、もうすでに20さいでしたか

^{かみ}らね。それでもエレミヤは、^{ひと}神さまの^{ひと}ことを人々に^{はな}話すなんてとんでもないと思いました。どうしてって、^{おも}かれのまわりの人々は、^{ひと}ほんとうに悪い人たちで、ひどい^{わる}ことばかりしているのですから。



「エレミヤ、おそれるな！」^{かみ}神さまは、きっぱりとこう言^い
われ^いました。「さあ、エレミヤよ、わたしが行きなさい
というところは、どこでも
行^いくのだ！」

わたしが、話^{はな}
しなさいという
ことは、なんでも
言^いうのだ！わたしが、
いつもいっしょにいる
のだから。わたしが、おま
えをつかわそう。」あれっ、

それから神さまは、エレミヤに何かとく^{かみ}
べつなことをなさいましたよ。そう、
^{なに}

神さまはエレミヤの口^{くち}びるに、
そっとふれられたのです。

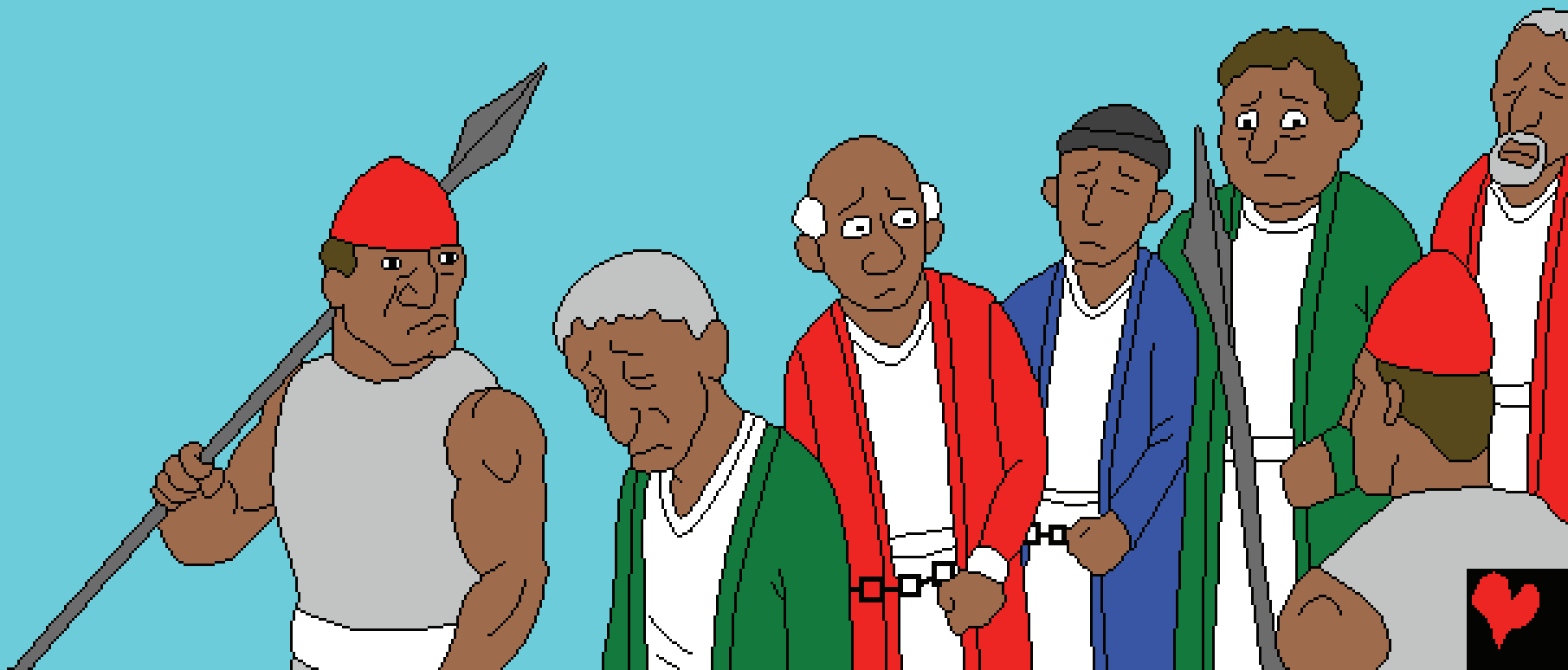


かみ ちから き ちえ あた
神さまは、エレミヤに力、ゆう気、そして知恵を与えられました。すると、
ひと おお こえ はな
どうでしょう。エレミヤはたくさんの人のまえで、大きな声で話しはじめたでは
かみ あい たす おも
ありませんか。神さまが、愛していらっしゃること、そして助けたいを思ってい
おも だ はな
らっしゃることを みんなに思い出してもらおうとして、いっしょうけんめい話
しました。でも、だあれ

はな
もエレミヤの話しなんか
き おう
聞こうとしません。王さ
までさえもね。



エレミヤは、100年ぐらいまえにあつたできごとを、人々に思い出させよう
としましたよ。それは、イスラエルの北の王国が、「神さまなんか、いら
ないよ。」と捨ててしまった時のことです。そのとき、かれらのてきアッシリア
軍の人々が、イスラエルの王国に攻めて来て、そこに住んでいた人々はみんな、
とおいとおい地に追いやられてしまったのです。





みなみ おうこく

今また、イスラエルの南の王国、ユダの

ひとびと かみ

人々が「神さまなんか、いらないよ。」と

い す ぐん

言って捨ててしまったのです。てきの軍たい

が、もうすでにこちらに向かって来ているで

はありますか。神さまは、神さ

まの民が、他の民にやっつけられ、

とおいとおい地に追い出されてしまっ

てもよいと思っていらっしゃるのでしょ

うか。



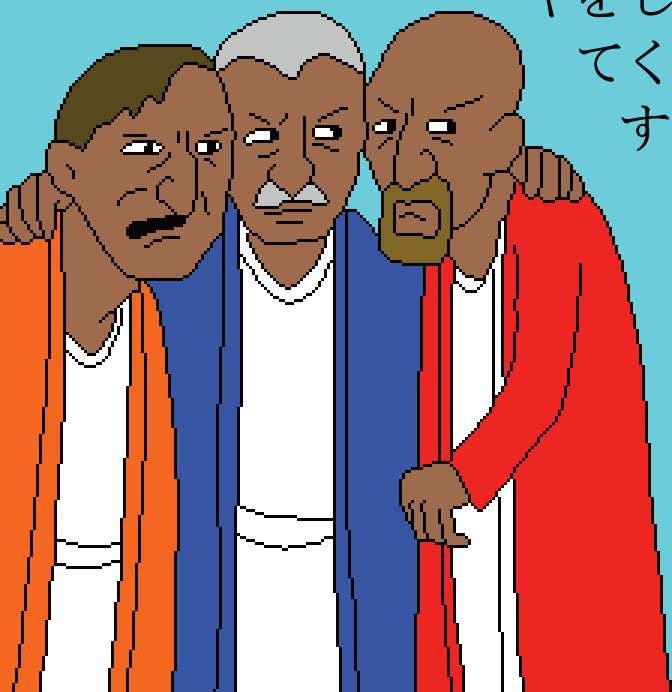
ひとびと　　こころ　　ぞう　　しん　　ぞう　　ぐん
人々は、心からぐう像を信じていました。みなさん、ぐう像は、てきの軍たい
ひとびと　　たす　　おも　　けっ　　かみ
から人々を、助けることができると思いますか。いいえ！決してできません。神

さまだけが、助けることができるのですね。でも、ぐう像を信じる

ひとびと　　かみ　　はな
人々は、神さまのことを話すエレミヤに、すっかりはらをたてま
した。じつはね、みんなは「エレミヤをころしてしまおう！」って、

けいかく
計画していたのですよ。エレミヤは、だいじょう　　ぶでしょうか？

かみ
もちろんです。神さまが、しもベエレミ
まも
ヤをしっかりと守っ
てくださっています
すからね。



かみ

とうとう神さまは、エレミヤがたいへん

い

ショックをうけるようなことを、言われまし

ひとひと

た。「エレミヤ、もうイスラエルの人々のた

いの

たす

めに、祈らなくてよい。かれらが、どうか助

な

けてくださいと、わたしに泣いてたのんだと

き

しても、いまのところ聞くつもりはない。」



そこでエレミヤは、王さまに知らせまし
た。「あなたの国は、バビロンの軍とのた
たかいに、負けてしまうだろう。」とね。
それを聞いた王さま、すっかり怒りまし
た。「エレミヤを、すぐろうやに、ぶちこ
んでしまえ！」でも、ろうやの中でもエレ
ミヤは、みんなに神さまのことを話しつづ
け、神さまを心から信じつづけました。





で
ろうやから出たあと、
おう
エレミヤは、また王さま
ひとひと かみ
まや人々に神さまのお
はな
話しをしました。「み
かみ
んな、神さまのもとに
こころ
もどるんだ！心から
しん
信じるんだ！」って。
おこ おみ
怒った王さま、こんど
はエレミヤを、どろだ
ふか ちか
らけの深い地下のろう
ほう
やに放りこんでしま
いました。



けれどもその後、^ご神さまは、^{かみ}王さまの心を変えられたのです。^{かみ}神さまを信じる

^{おう}ようになった王さまは、みんなにわからないように、そっとエレミヤをろうやか
^{すく}ら救い出しました。そして、エレミヤにたずねましたよ。「^{かみ}神さまは、^{おう}王である

^{なに}わたしに、何をするように言^いわれているのか。」エレミヤの答^{こた}えはこう

でした。「とらわ

^{ひと}れ人となるのだ。
そうすれば、あな

^いたは生きてゆける

^{かみ}だろうと神さまは

^い言われている。」



ぐん ち
バビロンの軍たいは、エルサレムとユダのほとんどの地を、
じぶん もの
自分たちの物としました。かれらは、かべやたて物すべ
なに や
てをこわし、何もかも焼きつくしてしまったのです。
かみ い たみ ねん
神さまは、言われました。「わたしの民は、70年
びと
のあいだ、とらわれ人とな
ご
るだろう。そしてその後、
わたしは、かれらをやくそ
ち
くの地へつれもどす
ことにしよう。」



ひと
なみだの人、エレミヤ

かみ み せいしょ しる
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ
エレミヤ書

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っ^{おも}ていら^{おも}っしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していら^{かみ}っしゃいます。それを、神さま
は、罪^{かみ}とよばれて^{かみ}います。その罪のむくい^しは、死^しです。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをと^{かみ}ても愛^{あい}していら^{ひとり}っしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世に送^よって^{おく}くださいました。そしてあなたの罪のために、十字架^{つみ}上で亡^{じゅうじかじょう}くなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国^{てんごく}のいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
は、今、あなたの所へ来て、あなたのところ^{いま}の中に住んで^{ところ}くださいます。そして、いつまでもイエスさ
まといっしょに生きる^{いま}ことができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じ^{しん}るなら、神さまにこう言^{かみ}ってください。
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛^{あい}する神さま、私^{かみ}は、あなたが神さまと信じ^{しん}ます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡^{ひと}くなっ
て^{わたし}くださいました。そして、よみがえって、いま生きて
いら^{わたし}っしゃいます。どうか、私のところ^{なか}の中^きに来て、罪^{つみ}をゆるしてください。それで、私は今、あた
らしい命^{いのち}をいただけます。そして、いつか、あなたの所^{ところ}へ行き、いつまでもあなたといっしょに
いる^こことができます。あなたにしたがえますよう、あなたの子として生きる^いことができますよう、たす
けてください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

